

展示カード

教材教具名	仮校舎に感謝をこめて(仮校舎を描こう)		
出展者	高等部3年(知的障害部門)		
対象	高等部3年(知的障害部門)	教科	美術
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・絵の具の水分量を調整し濃淡のつけ方を学び、淡い色で着色することができる。 ・仮校舎の中や外を見て回りお気に入りの場所を探し、構図を決めることができる。 		
使い方	生徒と校舎を観てまわり描きたい場所を探した。『写真でぬりえをつくろう。』というアプリを使い、それぞれのお気に入りの場所を画用紙に印刷。水彩絵の具の濃淡のつけ方や色鉛筆の使い方を練習した後、校舎の作品に着色を行った。		
作り方・工夫点	校舎を描くことは途中で諦めたり、達成感を味わいにくかったりと難易度が高いと感じている。今回『写真でぬりえをつくろう。』というアプリを使い輪郭を画用紙に印刷することで生徒が描く際のヒントになるようにした。また、水彩絵の具の着色ではぼてっと塗ってしまう生徒が多いため、水分量を調整する練習を行ってから本番に臨んだ。また、絵の具だけで着色しようとするとう細かい部分の表現がしづらいので色鉛筆を使うことで細かい部分も描けるようにした。		
効果・改善点	輪郭があらかじめ描かれているので、生徒は着色しやすく、みせたい部分も色鉛筆を使うことで描きたしやすくなったと思う。今回は校舎を描くという題材にアプリを使用したのが、同じ苦手意識を感じやすい自画像や風景画などにも利用しやすいと思う。		

